

新総合計画(素案)の あらまし

まちづくりの指針となります。第5次幸田町総合計画(素案)の骨組みがまとまりました。この計画は、現在実施中の第4次総合計画の基本計画が平成17年度で終期を迎えることから、基本構想の計画期間は平成22年までの計画となっており、残余期間があります。少子・高齢化、人口減少時代の到来、地球環境の保全や社会の安全確保など時代の転換点として捉え、これらさまざまな課題に対応すべく、今回新たに第5次総合計画を向こう10年間の行政指針として策定することとしました。

今回、その骨組みとなる基本構想・基本計画(素案)の概要をお知らせします。住民と行政が力を合わせてまちづくりを進めていく基礎となる大切な計画です。ふと浮かんだあなただけの率直なご意見をお聞かせいただきたいと思います。



基本構想(構想期間 平成18年度～27年度)

まちの将来像

町民と行政がまちづくりの目標として共有する将来像を「人と自然を大切にする緑住文化都市」とします。周囲を山並みに囲まれた本町には、里山の緑や川、市街地を取り巻く農地、そしてため池などが織りなす豊かな緑の景観が広がり、時代を超えて継承されてきた豊かな環境が最大の魅力であると考えています。そこで、皆さんが「住んで良かった」と思うまち、訪れる人々が他の都市と比べて「心地良い場所だな、住んでみたいな」と感じるまちをつくるため、本町が引き継いできた魅力を都市的発展の中に積極的に取り込んでいくこととします。そして、自然と生活、活力のある農業、工業や商業、そして健康で生きがいをもって暮らせる地域のコミュニティや活発な文化芸術活動が、調和あるかたちで融合することのできるまちを創造していきます。

まちづくりの基本方針

将来像実現に向けて、次の6つを基本方針とします。

安全で快適な都市の基盤・生活の環境づくり
快適な暮らしや人々の交流、産業の活力を支え、

誰もが安全で安心して暮らすことのできる都市の基盤づくりを進めます。

【主な事業】

耐震補強、総合治水対策、幹線道路整備、公共下水道整備、土地区画整理、道の駅整備、墓園整備事業など



道の駅(構想図)

イクルプラザ建設、分別収集の推進など

多様な産業が育つまちづくり

農業、工業、商業など、まちがこれまで以上に培ってきた産業特性を最大限活かしつつ、次世代産業の誘致、町内外から多くの人が集い楽しむ拠点形成など、次の時代を見据えた産業振興を進めます。

【主な事業】

商業拠点の整備、新たな産業の誘導、農業後継者育成、農村農業公園の整備、地産地消の推進、観光資源の創造など

健康・福祉のまちづくり

住民同士が互いの生活を尊重し、健康を思いやり、困ったことがあれば助け合うような、心温かいコミュニティの形成による地域社会を築きます。

【主な事業】

『みんなで育む健康こつた21計画』の推進、ファミリーサポートセンター設置など子育て支援、第二福祉授産所建設、介護予防と生活支援事業、老人福祉センター改築、バリアフリー化の促進など

地域文化・人づくり

ゆとりや生きがいを支える文化活動やスポーツレクリエーションなどに生涯学習として取り組む機会を充実します。子どもの希望や思いやりの心を大切に育てる学校教育、家庭教育の充実を図るとともに、将来を担う青少年の健全育成を推進します。

活力あるまち

『化都市』をめざして!!

組みがまとまりました

環境と調和するまちづくり
里山の森や川、農地やため池など豊かな自然を大切に生態系に配慮をし都市生活との共生を図ります。また、地球の限りある資源を大切に活用する資源循環型社会の形成を図ります。

【主な事業】

不動ヶ池・大井池での環境整備、花いっぱい運動、公園整備、一般廃棄物最終処分場建設、リサ

『人と自然を大切に作る緑住文化都市』をめざして!!

【主な事業】

特色ある学校づくり、幸田中学校
体育館および中央公民館の改築、給
食センター建設、郷土資料館建設、
総合体育館建設、コミュニティ施設
整備など

健全な行財政による確かなまちづ
くり

広報広聴活動の充実や情報の公開、
町民の参加や参画の機会の拡大を図
ります。また、行財政の一層の改革
や広域行政の充実に取り組みます。

【主な事業】

情報公開・個人情報保護、電子申
請・届出システムの整備、事務事業
評価の推進、民間委託・PFI方式
の検討、ボランティア支援、財政情
報の公開など

基本計画（10年後目標）

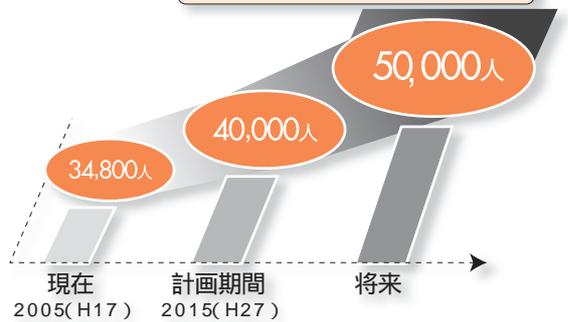
将来の人口（目標人口）

現在、事業実施段階となっていま
す開発事業においての計画人口が、
平成27年までに確保されることを前
提とすると、幸田町の人口は概ね
4万人を見込むことができます。

さらに将来に向けて、私たちのま
ちが、周辺自治体と連携や交流を図
りながら、「自立した都市」として
発展していくことを目指して、5万
人規模を展望した都市づくりを進め
ます。



5万人規模を展望した都市づくり



土地利用計画

4つの都市核（3駅プラス1）
JR幸田駅、三ヶ根駅、新設を予
定している（仮称）相見駅周辺市街
地に、ハッピーネス・ヒル・幸田周辺
の地域交流拠点を加え、4つの都市
核として位置付け、まち全体として
コンパクトでまとまりのある市街地
形成を計画的に誘導していきます。

2つの交通軸とネットワーク

町の基幹的な交通を担う広域幹線
道路のうち、国道248号を南北基
幹軸、国道23号（名豊道路）を東西
基幹軸と位置付け、この十字の2路
線を軸に、広域圏との連携強化を進
めます。加えて、これら2路線と4
つの都市核ならびに周辺市街地、集
落地、工業地などの都市機能を有機
的に結びつける道路網の整備を進め
ます。

特集3 夢のある、心のかよう、 『人と自然を大切に作る緑住文』

第5次幸田町総合計画(素案)の骨



整備が進む名豊道路

自然環境の保全と再生

まちの自然環境の保全・再生を展
開していくため、生態系再生の軸と
なる広田川水系、拾石川水系、須美
川水系の3つの水系を環境軸として
位置付けるとともに、集落を取り囲
む農地やその背後に広がる森林・自
然緑地を環境域として防災に配慮し
その保全に努めます。

推進体制

まち全体の発展のためには、基本
構想において示す地域づくりの将来
目標について行政と町民が認識を共
にし、目標に向けて相互の役割を尊
重し、支え補い合いながら協働して
取り組んでいくことが期待されます。
特に、各地域の発展を図る上では、
身近な地域コミュニティに加えて、
福祉や文化、環境や防災など様々な
分野の住民活動、さらには地域の民

皆様のご意見をお寄せください。

幸田町公式ホームページに『第5次総合計画(素案)』を掲載します。

掲載期間 4月30日まで

ホームページ <http://www.town.kota.aichi.jp>

Eメール kikakujoho@town.kota.lg.jp

FAX 63-5139

宛先 持参の場合含め総務部企画情報課

*お寄せいただいたご意見に対して、個別に回答はしませんが提出された意見に対する町の意見を整理し公表します。



問合先 企画情報課企画係
(内線321)

問事業者や進出立地している企業な
どと協力しながら、自治活動を活性
化していく取り組みを行政として積
極的に支援していきます。